

施策評価調書(26年度実績)

施策コード | II-1-(2)

| | | | | | | |
|------|-----|---------------------------|-------|-------|---------|----|
| 政策体系 | 施策名 | 「The・おおいた」ブランド確立に向けた商品づくり | 所管部局名 | 農林水産部 | 長期総合計画頁 | 79 |
| | 政策名 | 知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業の振興 | 関係部局名 | 農林水産部 | | |

【Ⅰ. 主な取り組み】

| | | | | |
|-------|--------------------|-------------------|-------------------|----------|
| 取組No. | ① | ② | ③ | ④ |
| 取組項目 | 農畜産物の生産拡大とブランド化の推進 | 林産物の需要拡大とブランド化の推進 | 県産魚の安定供給とブランド化の推進 | 新しい流通の展開 |
| 取組No. | ⑤ | | | |
| 取組項目 | 地産地消の推進 | | | |

【Ⅱ. 目標指標】

| 指 標 | | 関連する 取組No. | 基準値 | | 26年度 | | | 27年度 | 目標達成度(%) | | | | | | | | | |
|-----|---|---------------|-----|--------|-----------------|-----------------|--------|---------|----------|----|----|-----|-----|--|--|--|--|--|
| | | | 年度 | 基準値 | 目標値 | 実績 | 達成度 | 目標値 | 25 | 50 | 75 | 100 | 125 | | | | | |
| i | 園芸12品目(戦略品目)の産出額(百万円/年) | ① | H21 | 22,313 | 25,542 (H25) | 24,600 (H25) | 96.3% | 27,000 | | | | | | | | | | |
| ii | 大分方式乾燥材認証工場による乾燥材生産量(m ³ /年) | ② | H21 | 67,453 | 98,000 | 122,605 | 125.1% | 100,000 | | | | | | | | | | |
| iii | 「The・おおいた」ブランドチャレンジ魚種県漁協販売額(百万円/年) | ③④⑤ | H21 | 5,401 | 6,300 | 6,113 | 97.0% | 6,300 | | | | | | | | | | |
| iv | 農林水産物直売所の売上額(百万円/年) | ⑤ | H15 | 6,597 | 12,300 (H25) | 12,947 (H25) | 105.3% | 12,500 | | | | | | | | | | |

【Ⅲ. 指標による評価】

| 評価 | | 理 由 等 | 平均評価 |
|-----|------|---|------|
| i | 概ね達成 | 次世代を担う園芸産地整備事業等を活用して施設整備や生産基盤整備を進めた結果、産地の拡大が進み、こねぎ、トマト、にら、なし等の品目で生産量が増加したものの、夏場の天候不順等により品質が低下し、農産物の単価が低く推移したため、目標の達成には至らなかった。なお、26年実績が12月公表のため、目標値と実績は25年数値を記載している。 | 達成 |
| ii | 達成 | 製材所における乾燥機の導入と乾燥技術の向上により、目標を達成した。 | |
| iii | 概ね達成 | 養殖ブリやタチウオ等の価格が高水準で推移したなか、県内外で販売促進に努めたことにより、目標を概ね達成した。 | |
| iv | 達成 | 安全で新鮮な農林水産物を販売する直売所の人気は高く、東九州自動車道の県内全線開通により今後より一層の売上げ増加が期待できる。なお、26年度実績が11月確定のため、目標値と実績は25年度数値を記載している。 | |

【IV. 指標以外の観点からの評価】

| 取組 No. | 指標以外の観点からの評価 |
|--------|--|
| ① | ・高糖度かんしょ(甘太くん)の27年度産からのウイルスフリー苗使用率100%達成に向けて供給体制の強化を行った。 ・担い手対策では、3企業体に対し合計5ha以上の施設整備及び生産基盤整備の支援を行った。 |
| ② | ・製材品出荷量は平成25年度の480千m ³ から26年度見込みは470千m ³ と、消費増税後の住宅着工戸数の落ち込みによる製材品需要全体の減少が見られるものの、乾燥材需要は増加しており、26年度は順調な乾燥材生産が行われた。 |
| ③ | ・かぼす果皮パウダーの量産化に取り組んだ結果、かぼすブリの生産量は前年比40.2%増の418t、かぼすヒラメの生産量は前年比10%増の44tとなった。 |
| ④ | ・県産材の需要拡大を図るため、海外輸出に対する支援により、スギ丸太等の海外輸出量が40千m ³ (前年対比190%)と増加した。 ・かぼすブリの知名度は県内外で向上しており、販売量は順調に伸びている。 |
| ⑤ | ・直売所経営者を対象とした研修会を実施し情報の共有及び意識啓発が図られた。 |

【V. 施策を構成する主要事業】

| 取組 No. | 事業名(26年度事業) | 事業コスト(千円) | 事務事業評価 | | 主要な施策の成果掲載頁 |
|--------|---------------------|-----------|--------|----------|-------------|
| | | | 総合評価 | 27年度の方向性 | |
| ① | 次世代を担う園芸産地整備事業 | 613,107 | A | 継続・見直し | 135 |
| | 県域食肉流通センター整備支援事業 | 310,544 | A | 継続・見直し | 136 |
| | 肉用牛繁殖産地活性化モデル事業 | 14,225 | A | 継続・見直し | 137 |
| ② | 木造建築物等建設促進総合対策事業 | 497,980 | A | 継続・見直し | 138 |
| | 原木しいたけ再生回復緊急対策事業 | 558,374 | B | 継続・見直し | 139 |
| ③ | 県産魚販売総合力向上事業 | 23,396 | A | 継続・見直し | 141 |
| ④ | The・おおいブランド流通戦略推進事業 | 90,730 | C | 継続・見直し | 132 |
| | 農林水産物輸出促進対策事業 | 18,569 | A | 継続・見直し | 133 |
| | 県産材販売強化総合対策事業 | 21,777 | A | 終了 | 140 |
| ⑤ | 地産地消運動活性化推進事業 | 13,813 | A | 継続・見直し | 134 |

【VI. 施策に対する意見・提言】

| | |
|---|--|
| ○「安心・活力・発展プラン2005」第1回活力部会(H26.7) ・かぼすブリなどを出しているお店の宣伝や、どこで食べられるのか等の情報発信をして、アクセスしやすい状態にしてはどうか。 | ○第8回「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H26.8) ・地元産品の良さを県民の皆さんが知らないことが多い。地産地消により、地元産品の良さを県民が改めて認識することが全国展開につながる。 |
|---|--|

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

| 総合評価 | 施策展開の具体的内容 |
|------|---|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・拠点市場のシェア拡大やメーカーによる新規販路開拓などにより、戦略品目の市場競争力強化を図る。 ・ネット販売など流通の多チャンネル化へ対応した生産・販売体制を整備するとともに、消費や価格に関するデータの多角的分析による戦略的な流通・販売を促進する。 ・おおい豊後牛の増頭に向けた取り組みを進めるとともに、オレイン酸生成能力に優れた遺伝資源の活用によるブランド確立を図る。 ・高品質な県産材の安定供給と需要拡大を図るため、木材加工施設における製材機・乾燥機等の整備や、商社・ハウスメーカーへの販売促進活動等を推進する。 ・県産水産物の販路及び消費拡大を推進し、漁業者の所得向上を図るため、県漁協等が実施するかぼすブリ、かぼすヒラメや養殖ヒラマサなどの販路開拓の取組を支援するとともに、県栄養士会との連携による学校給食や病院・福祉施設のニーズに対応した県産魚の加工品開発や魚市場等が実施する魚食普及の取組について支援する。 |